広報かじき

住民意識調査結果 特集

昭和60年 3月号外

発行 加治木町
編集 総務課

みんなで町づくり

「市民生活が躍動する文化的な居住都市」をめざして――。

六十一年度からスタートする町総合振興計画（後期計画）を策定するための基礎資料として、町民の皆さんがどんな意識をお持ちかを把握するため、昨年十月町内全世帯を対象に「住民意向調査」を実施しました。

厳しい財政状況のもとでこの調査結果を、後期計画にどう反映させていくか、今後の課題です。

六十年度、調査結果をふまえながら策定作業に取り組んでいきます。

新生町にて

◈ 人口23,140人（＋43） 男10,924人（＋16） 女12,216人（＋27） 世帯数7,903（＋7） 60. 2. 1現在（　）前月比

町の活性化を

回収率は八六・五パーセント

今年は、六十五年を目標に策定した町総合振興計画の見直しの年……。そこで、皆さんが〝町づくり〟にどういう意識をお持ちかを把握するため昨年十月、七千三百六十五世帯（回収六千三百六十八世帯、八六・五パーセント）を対象に『住民意向調査』を実施しました。

その調査結果（二五パーセント抽出集計）がまとまりましたので、お知らせします。

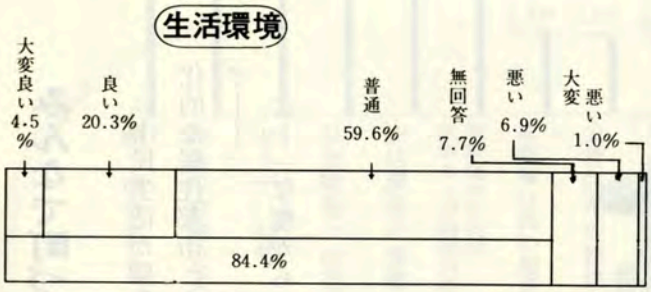
調査票の配布、回収にあたっていただきました行政連絡員各位に感謝申し上げます。

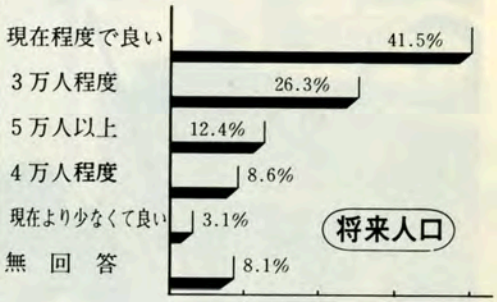
生活環境

人口の定住化を望む

人口規模をみると「現在程度で良い」が四一・五パーセントと一番多く、次いで「三万人程度」二六・三パーセントとなっており、人口の定住化を望んでいることがうかがえます。

総合振興計画では、将来人口を六十五年には三万二千人と設定していますが、最近の人口の推移を考慮しながら、今後本町のあるべき目標人口を検討していきたいと考えます。





水はけや買い物に不満

〝まわりの環境〟について、日ごろ特に不満を感じるものは「下水・側溝などの水はけ」「日常の買い物の便利さ」「まわりの道路の広さ（安全性）」をあげられる人が最も多く、「車やその他の騒音」「医療・保健の便利さ」「バスなど交通機関の便利さ」なども不満だと感じています。

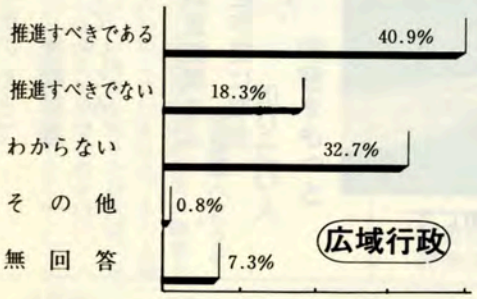
生活環境の満足度をみると「普通」を含め八四・四パーセントの世帯が、「現在の生活環境に満足している」という結果がでています。

「町および県に対して力を入れて欲しい」と思う希望施策では、「商工業の振興」「生活環境の整備」「教育・文化の振興」に対する施策について力を入れて欲しいという結果になっています。

40.9パーセントが広域行政の推進に積極的

他町との合併など「広域行政の推進」については全体の四〇・九パーセントが「推進して欲しい」と望んでいます。

今後も更に隣接町と協力し合いながら、すでに実施している事業を含め、広域的な行政を推進することが必要だといえます。



町および県に対して力を入れて欲しい施策

工業・地元産業の振興	8.8%
道路の整備	6.5
下水道など環境衛生上の整備	6.4
保健・医療体制の確立	5.7
児童・老人福祉行政の充実	5.7
交通安全・防犯・風紀などの対策	5.4
公園・緑地の整備	5.1
商業の振興	4.3
社会教育，文化・レク活動の推進	3.9
青少年対策	3.8
環境美化・ごみ処理・清掃対策	3.8

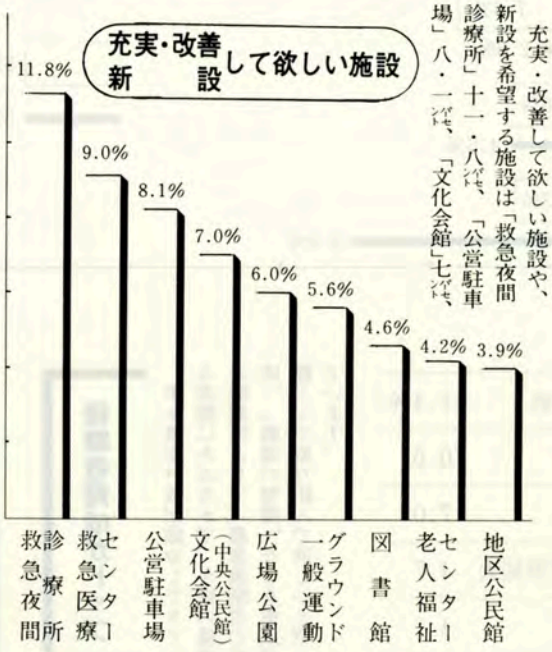
住民意向調査まとまる

商工業の振興をはかり

都市づくりの目標

文化会館など住民が利用する公共施設の建設	11.4%
工業地区の整備 工業団地の建設	9.6
商店街の整備と近代化	7.9
下場地区の下水道など環境衛生施設の整備	7.8
観光・レクリエーション開発と施設の整備	6.8
生活関連道路の整備	6.8
地元産業・市街地内工場群の整備	5.3
高岡公園の整備	4.4
新住宅地区の整備 住宅団地などの建設	3.7
既成市街地の居住環境整備（都市下水路）	3.6

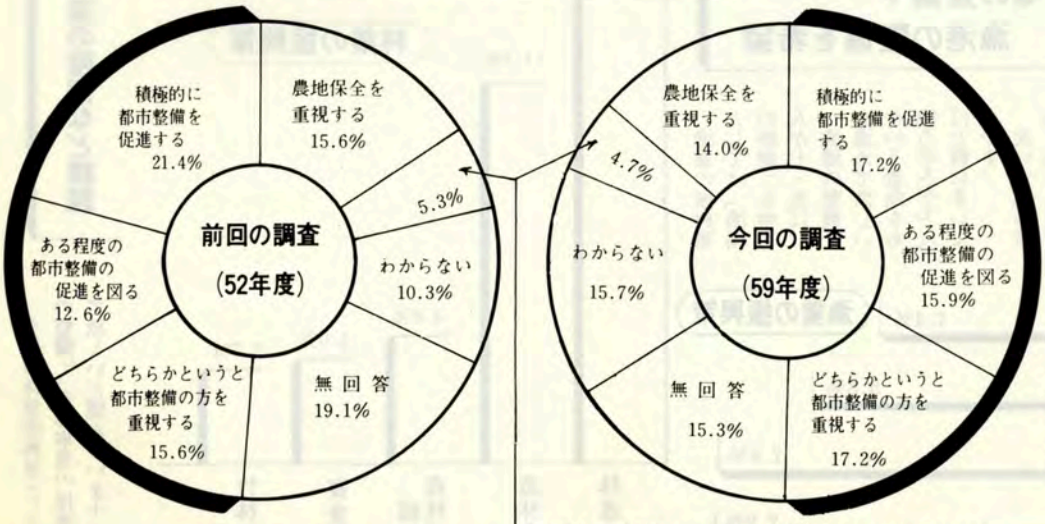
充実・改善して欲しい施設 新設



医療施設や公園など公共施設を充実

充実・改善して欲しい施設や、新設を希望する施設は「救急夜間診療所」十一・八パーセント、「公営駐車場」八・一パーセント、「文化会館」七パーセント、「広場公園」六パーセントなどが目立って高くなっており、安心して生活を営んでいくうえで、身近かな医療施設やコミュニティの場となる公共施設の充実を望んでいます。

下場地区の開発と保全のあり方



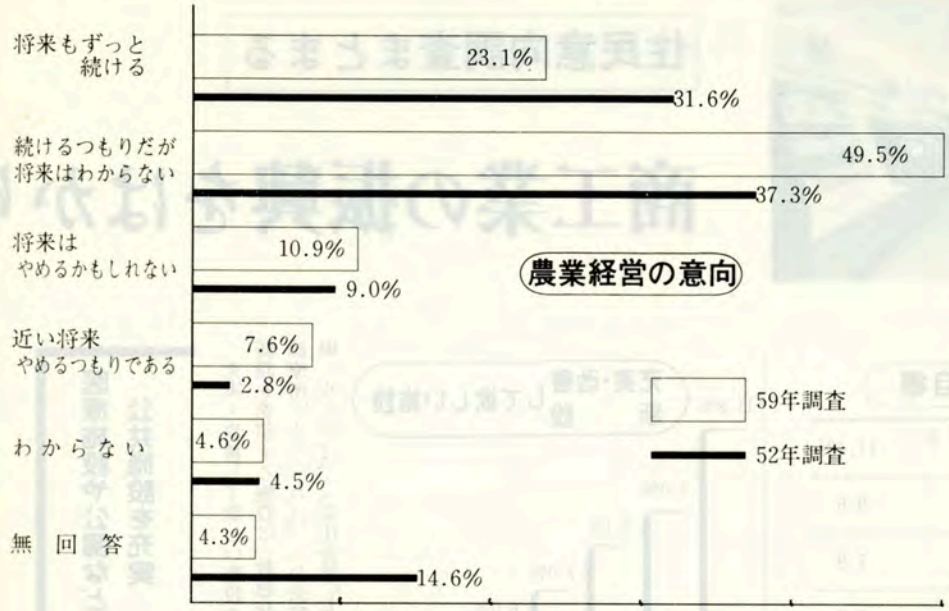
下場は都市整備を優先

下場地区の開発と農地保全のあり方をみると、「どちらかというと…」「ある程度」を含めて全体の約半数が「都市整備の方を優先する」と答えています。

農林漁業

近い将来やめるつもり 四・八パーセント増加

今後の農業経営の意向を前回調査（五十二年）と比べてみると、「将来ずっと続ける」が八パーセント減少し、一方、「将来はわからない」が十二・二パーセント、「将来はやめるかもしれない」一・九パーセント、「近い将来やめるつもりである」が四・八パーセントとそれぞれ増加しています。



後継者育成がトップ

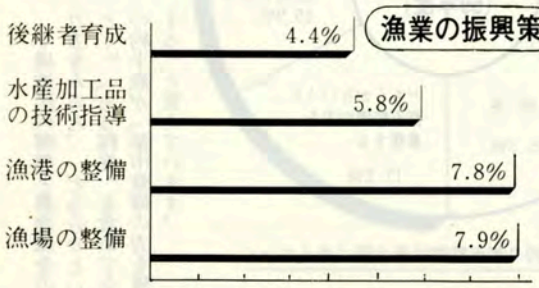
年々農家戸数が減少してきている実態にあるなかで、今後の農業の振興策として「農業後継者の育成」「農道の整備」などを重点課題として取り組んで欲しいと望んでいます。

農業後継者の育成	11.4%
農道の整備	10.6
技術指導の強化	7.0
価格補償制度の充実拡大	4.7
ほ場の整備	4.7

漁場の整備や漁港の整備を希望

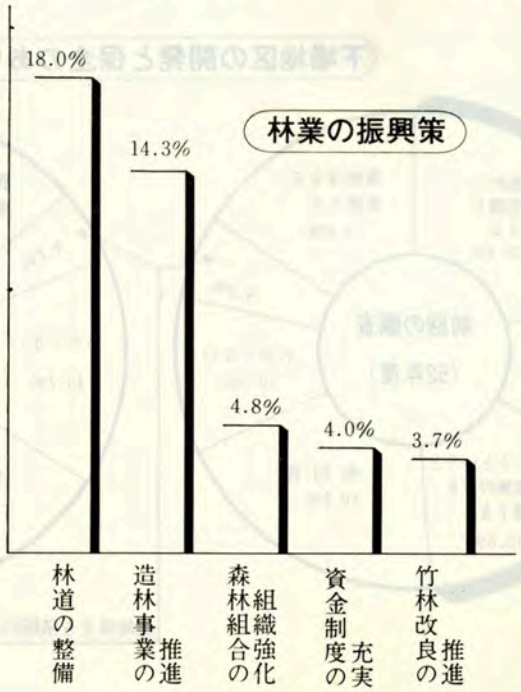
漁業の振興策としては「漁場の整備」を望む人が七・九パーセント、「漁港の整備」を進めて欲しいという意向をお持ちの人が七・八パーセントと特に多いようです。

次いで「水産加工品の技術指導」を希望する人が五・八パーセント、「後継者育成」をすべきだという意向の人が四・四パーセントの順となっています。



林道の整備など課題

今後の林業振興策として「林道の整備」「造林事業の推進」を図って欲しいと望んでいます。

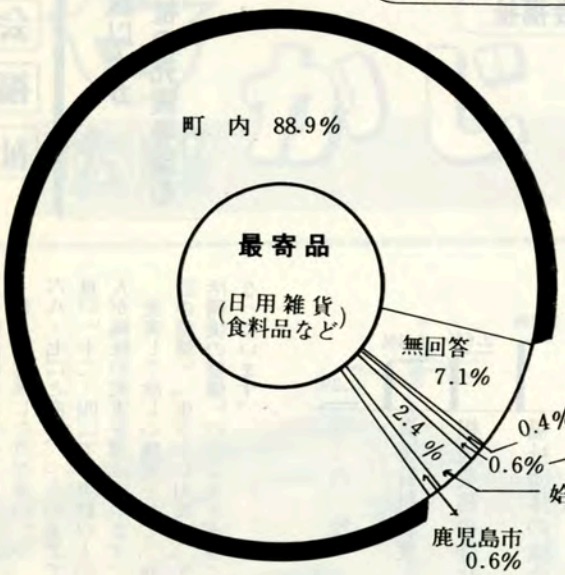


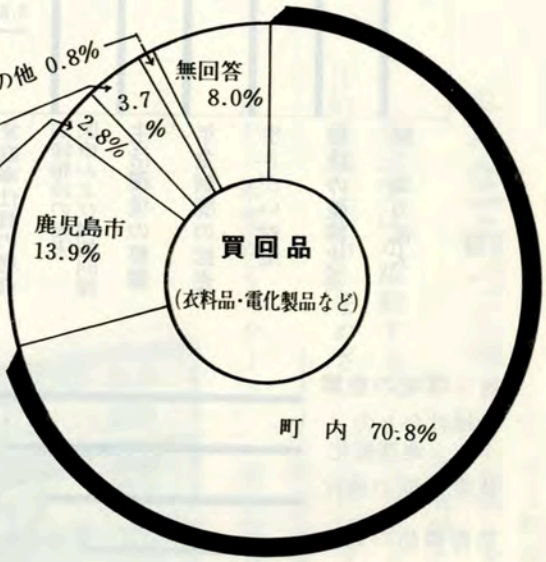
商工業

大半の世帯が買い物は町内

消費者の買い物行動圏域は年年拡大しつつありますが、大半の世帯が最寄品（日用雑貨・食料品など）、買回品（衣料品・電化製品など）どちらも「町内の商店」で買い求めているという結果になっています。

買い物の状況





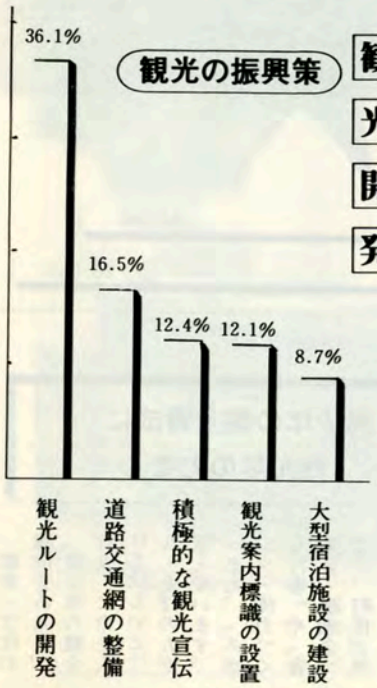
駐車場の設置を望む

商業の活性化を図るための方策として「駐車場の設置」が十九・一パーセントと最も多く、次いで「大型店舗の誘致」十・七パーセント、「専門店街づくり」八・六パーセントなど、商店街の近代化を望んでいます。

駐車場の設置	19.1%
大型店舗の誘致	10.7
専門店街づくり	8.6
店舗の近代化	7.6
アーケードの設置	7.4
より豊富な在庫商品	6.7
宣伝活動とアフターサービス	5.1
商店街の再開発	4.6

観光開発

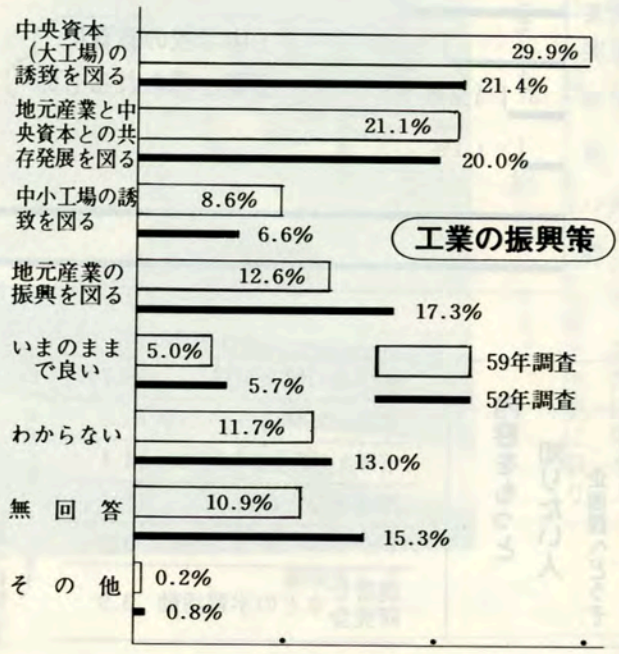
観光の振興策



工場誘致の希望増加

工業の振興策をみると「中央資本（大工場）の誘致を図る」が、前回調査に比べ八・五パーセント増加しており、工場誘致を望んでいることがうかがえます。

工業の振興策



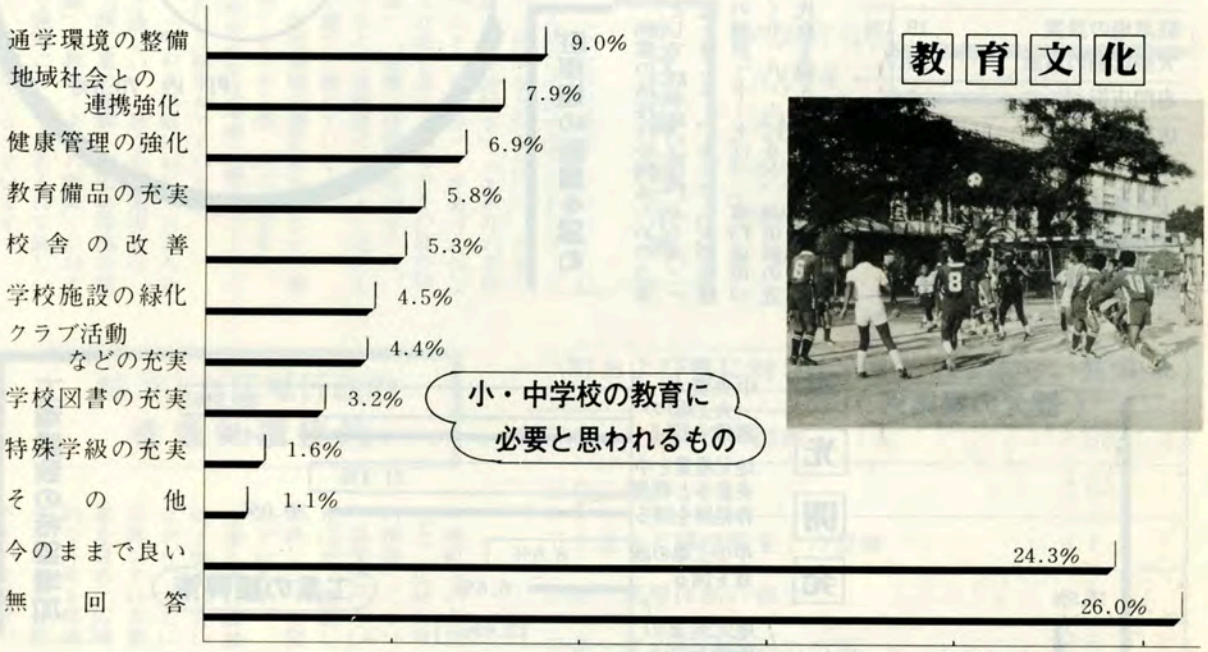
社会福祉

半数以上が福祉の充実を望む

今後の社会福祉についてみると「もっと充実した方が良い」が、六八・七％と高く、「今のままで良い」十二・四％で、半数以上の人が福祉の充実を望んでいます。

充実して欲しい施策として「施設の整備」「生きがい対策」「生活環境の整備」のウエイトが高くなっています。

教育文化



青少年の健全育成にみんなの力を

教育・文化の意向をみると、「青少年の健全育成」に力を入れて欲しいと十八・七％の人が望んでいます。

また、「スポーツ・体力づくり行事」や「音楽会・映画会」など、町民が気軽に参加できる行事や研修会を望む人が多くなっています。

青少年の健全育成	18.7%
スポーツ・体力づくり行事	15.8
音楽会・映画会などの行事	13.4
講演会などの行事	11.1
レクリエーション活動	9.2
読書会 研究会 などの学習活動	3.9

内容をもっと知りたい人

企画課へどうぞ

住民意向調査結果の概要をお知らせしました。もっと詳しい内容を知りたい人は、企画課にお尋ねください。